

令和7年度

保谷小学校

1年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名：生活科「もうすぐ2ねんせい」  
(活動名)

ねらい：入学してからの出来事などを振り返り、自分の成長やそれを支えてくれた人々の存在に気づき、感謝の気持ちをもつこと、そしてこれからの生活で自信や意欲をもって生活できるようにすることを目指す。また、幼稚園保育園の子とかかわる中で自分の内面的な成長に気付く。

## 【12月】

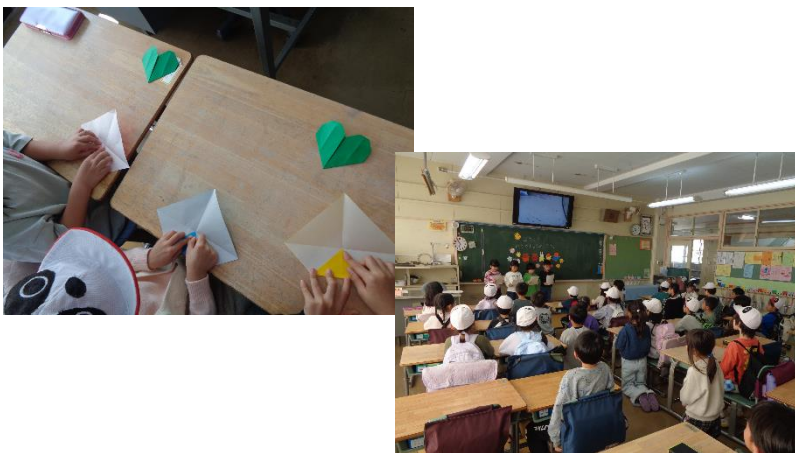
近隣の5園の園児を招き、保谷小学校の校庭で一緒に遊びました。

最初は「もうじゅうがりゲーム」と「じゃんけんれっしゃ」を全員で行いました。その後は、少人数のグループに分かれ、1年生が考えた遊びを楽しみました。園児に優しく接する姿が多く見られました。「もっと遊びたかった。」「今度はいつかな。」という声がたくさんあがりました。



## 【2・3月】

「小学校の良さや楽しさを地域の子に伝えたい。」という思いから、地域の6園の園児を招き、交流会を行いました。園児に保谷小学校のクイズを出したり、折り紙を教えてあげたりと楽しく活動することができました。園児の「楽しかった!」「早く小学校に入学したいな。」の声に、1年生たちも、とても満足した様子でした。園児との繋がりを深める良い交流の場になりました。



## まとめ

この単元では自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々について考えます。成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、成長への願いをもって意欲的に生活できるようになってきています。子どもたちは保谷地区で育ってきています。これからも自分を育ててくれた地域を大切にしたいという思いをもち続けてほしいです。